

会期：2015年2月4日[水]～6日[金] 10:00～18:00 ※最終日のみ17:00終了

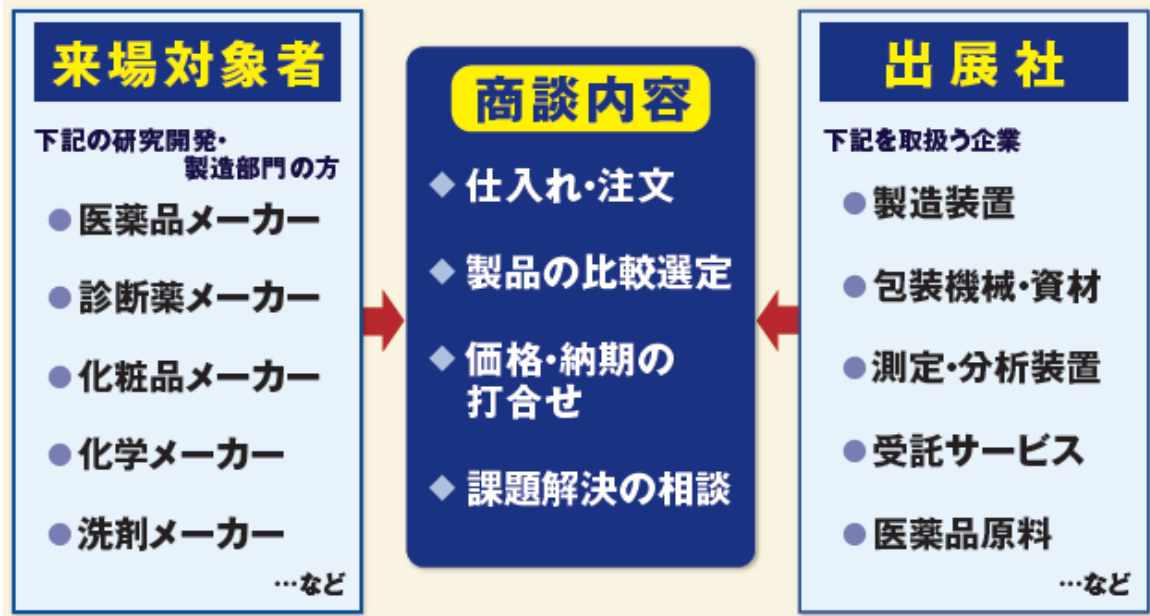
会場：インテックス大阪

特別協力：関西広域連合 後援：厚生労働省、医療関連48団体

■ いよいよ大阪に上陸！お見逃しなく

毎年夏に東京ビッグサイトで開催している、次回で28回目を迎える「インターフェックス ジャパン」、そして「第9回 in-PHARMA JAPAN」。実は同展は長年に渡り、出展社・来場者から「大阪でもインターフェックス・in-PHARMAを開催してほしい！」と強く要望が寄せられていた。具体的には「関西からの来場だと、東京展には限られた人数しか出張できず困っている。参加人数を絞らず来場できる大阪でも開催してほしい」「製品導入を効率よく行うため、多くの関係者が一度に参加できる機会が大阪にあると嬉しい」との声が年々増しており、ついに来年2月に「第1回 インターフェックス大阪」「第1回 in-PHARMA 大阪(医薬品原料 国際展)」を開催する次第となった。

東京展と同じく、「第1回 インターフェックス大阪」には、医薬・化粧品を製造・研究開発するためのあらゆる機器・システム・技術を持つ企業が一堂に出展。「第1回 in-PHARMA 大阪」には、医薬品原料、中間体、添加剤など原料サプライヤーが出展。その数、実に初回から220社に上る。会場のキャパシティの都合でお断りせざるを得ない会社が出るほどである。会場には全国から25,000名※もの医薬・化粧品・化学分野の専門家がこぞって来場する。注目の大阪開催となる同展の魅力をチェックしてみよう。(※予定、同時開催展を含む)



1、大阪展ならではの出展社が多数出展！

まずひとつには、やはり出展社の魅力がある。主要企業が名を連ねている中で、大阪展ならではの出展社も多数出展している。旭製作所、アソー(出展製品:ハイクリーンポリ規格袋)、SMC、大阪ガス行動観察研究所(出展製品:行動観察X)、神奈川機器工業(出展製品:ノッチワイヤーフィルター)、兼子産業(出展製品:フォークリフト用滑り止めアタッチメント「すべらんマット」)、関西シー・アイ・シー研究所、キャニオン(出展製品:ステンレス製移動ラック)、コーンズテクノロジー(出展製品:1000L液体用折りたたみ式コンテナ「コンボライフ」)、三機工業、柴又運輸(出展製品:シバックス・メディカル・クリスタル・ライン)、スカイ(出展製品:グローブボックス)、スターリングウルトラコールドジャパン、西部電機、第一大宮(出展製品:ドウ・セラーボックス)、タカミツ(出展製品:外用消炎鎮痛剤(パップ剤))、D.I.D(出展製品:フィットシールチェーン)、同栄商事(出展製品:卓上型テスト機)、凸版印刷(出展製品:エアホールドパウチ)、ナード研究所(PET試薬)、日章アステック(出展製品:サニタリー継手 Y字管)、一般財団法人 日本食品分析センター、ネオケミカル(精密蒸留)、ビー・エム・プロダクツ(出展製品:ナノレベルで表面改質したCrN杆)、MiZ(出展製品:超過飽和水素水生成器具)、ヤナギヤ(出展製品:真空加熱冷却式播漬機)、ユラボジャパン(出展製品:少量ガラスパイロットプラント)などである。

そのほかにも上記の図の通り、製薬・化粧品・洗剤分野向けの製品が一堂に出展する。本展の最大の見どころは多数の「実機・実演」だが、大阪展でも初回から見ごたえがありそうだ。

## 2、導入選定・技術相談のための展示会

来場の魅力の二つ目は、同展が「製品の導入・選定」や「技術相談」の場である、ということである。

出展社は会場で来場者とじっくり商談を行えるように、机と椅子(商談席)を用意。技術者が常駐しており、技術相談を行いながら、見積り・納期の打合せを行うことが出来るよう環境を整えている。

一方来場者にとっても「商談を行いやすい仕組み作り」がなされている。公式HPに公開している【出展社・製品検索システム】を使用し、来場者から出展社へアポイントがとれるようになっている。同システムは、キーワードやカテゴリーで出展社・製品を検索することが可能。さらに来場者が興味ある出展企業を見つけたら、ボタンを押すだけで簡単にアポイント申請が出来る便利なシステムである。

当日アポイントが成立した出展社のブースでは、自分の課題にあった資料や情報が用意されており、コストや疑問までその場で細かく打合せが出来る。一気に比較検討を行えるため、事前のアポイントはオススメである。

## 3、製薬セミナーを併催！

同展では展示会と併催して「製薬セミナー」が用意されている。医薬品業界の最新動向を網羅したプログラムとなっており、その充実した質の高い講演内容で、すでに業界関係者からの申込みが続々と届いている。このセミナーが初回開催とあって全て無料で聴講可能のため、早期に定員に達することが予想される。ご希望の方はお早めにお申込みを済まされることをお勧めする。

詳細なセミナープログラムは後ページで記載するが、ここでは基調講演・見どころ情報を紹介したい。

基調講演にはファイザーの米国本社からグローバルCMC部門 ヴァイスプレジデントであるRoger Nosal氏が「グローバル市場のニーズに対応するファイザーの挑戦」と題し、ファイザーの戦略が講演される。次にバイエル薬品 代表取締役社長であるカーステンブルン氏が「製薬業界の展望とバイエル薬品の取組み」を講演する。世界規模での製薬産業の再編が進む中、グローバル企業の講演は聞き逃さない。

そのほか特別講演を14セッション開催。その一部をご紹介しますと、塩野義製薬 小山 靖人氏による「PIC/Sガイドライン」、中外製薬 薬谷川 雅彦氏による「医療安全のためのデザイン開発」、武田薬品工業 上永吉 剛志氏による「抗体医薬品製造設備におけるシングルユース技術導入」、第一三共 簀田 雅之氏による「バイオ医薬品製造の最新技術事例」などを講演。医薬品原料のテーマでは、エーザイ 菊池 寛氏による「DDS技術がもたらす医療イノベーション」、アステラス製薬 真栄田 篤氏による「機能性微粒子の製剤設計と利便性製剤への適用」、第一三共 中川 弘司氏による「連続プロセスの導入のためのキー技術」など、他にも今注目のテーマが満載の充実したプログラムとなっている。

※詳細・プログラムは●ページより。セミナー申込みは公式ホームページ( [www.interphex-osaka.jp/seminar/](http://www.interphex-osaka.jp/seminar/) )にて受付中。定員になり次第、申込み締切。

## 4、再生医療展、診断技術展など同時開催！660社が出展、全170講演を開催

大阪展ならではの最大の特徴は「メディカル ジャパン 2015 大阪」内で開催することである。

「メディカル ジャパン」に関しては、●●ページにて見どころをご紹介しますが、その同時開催展に「第1回 再生医療 産業化展」「第1回 臨床検査・診断展」など医療関連の7つの専門展が併催するため、読者の皆様が来場された際にも、製薬技術だけでなく、先端医療の研究内容や、診断技術も一気に目にする事ができる。

「インターフェックス大阪」の招待券で他6展も来場が可能のため、ぜひ事前に出展社を検索し、様々な出展社との出会いに役立ててはいかがでしょうか。

### 【展示会概要】

#### ◆◆ 招待券申込(無料)受付中 ◆◆

展示会名: 第1回 インターフェックス大阪、第1回 in-PHARMA大阪(医薬品原料 国際展)

会期: 2015年2月4日[水]~6日[金] 10:00~18:00 ※最終日のみ17:00終了

会場: インテックス大阪

特別協力: 関西広域連合 後援: 厚生労働省、医療関連48団体

同時開催: 第1回 再生医療 産業化展

第1回 関西 臨床検査・診断展、第5回 関西 医療機器 開発・製造展

第1回 関西 病院イノベーション展、第1回 ナーシングEXPO(看護と介護の総合展)

【展示会に関する問合せ】 インターフェックス 大阪 事務局(リード エグジビション ジャパン株式会社内)

〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18F 広報: 高瀬・畠山

TEL: 03-3349-8509 FAX: 03-3349-4922 E-mail: [ipj@reedexpo.co.jp](mailto:ipj@reedexpo.co.jp)

公式HP: <http://www.interphex-osaka.jp/>